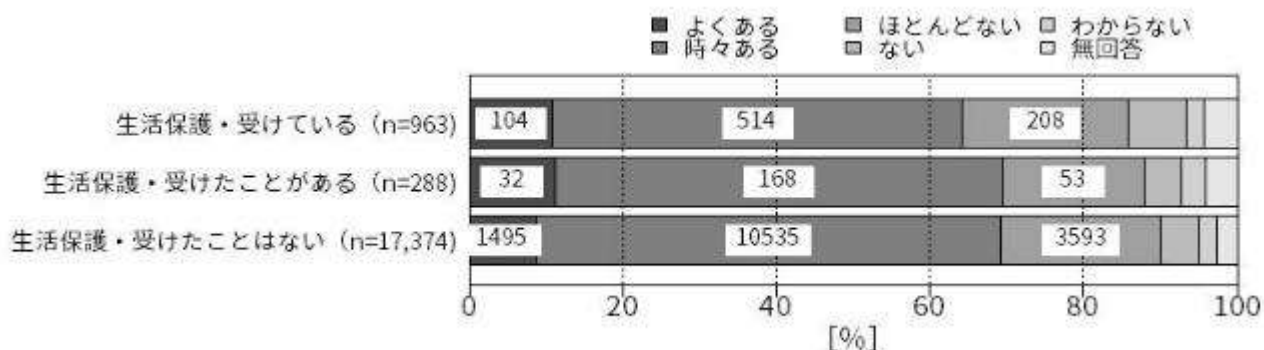


生活保護の受給別に見た、不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうこと  
(保護者票 問 30(3)⑤ × 保護者票 問 27)

<大阪市 24 区>



<大阪市阿倍野区>

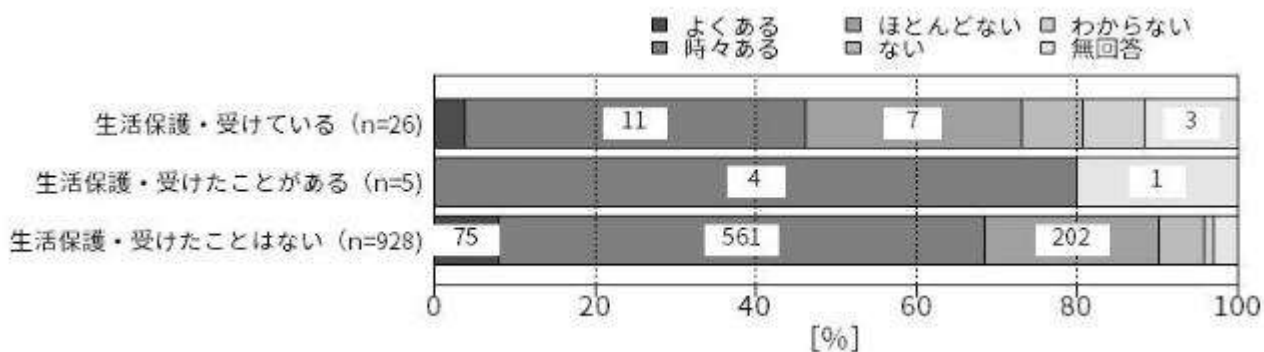


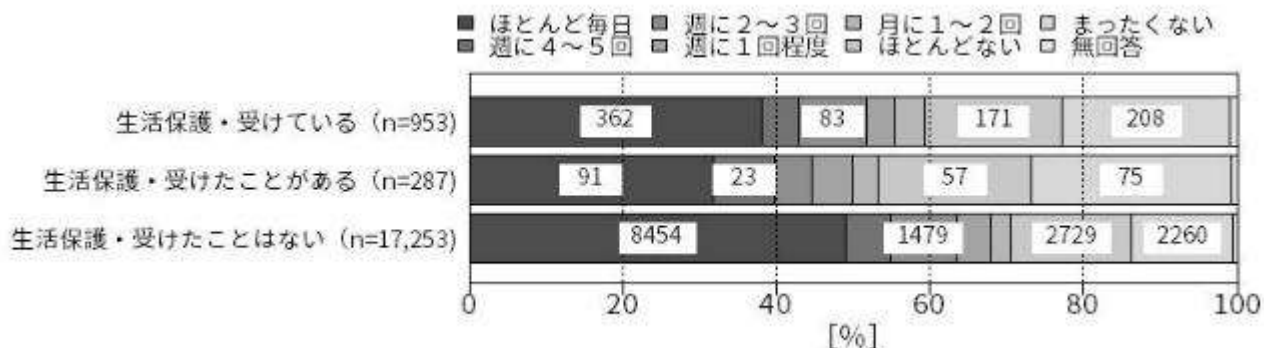
図 134. 生活保護の受給別に見た、不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうこと

生活保護を受けたことがある世帯は少数であったため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

生活保護を受けている世帯では、不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうことが「よくある」と回答した人が 3.8%、生活保護を受けたことがない世帯では 8.1%であった。

生活保護の受給別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と朝食を食べるか）  
 （保護者票 問 30(3)⑤ × 子ども票 問 10①）

<大阪市 24 区>



<大阪市阿倍野区>

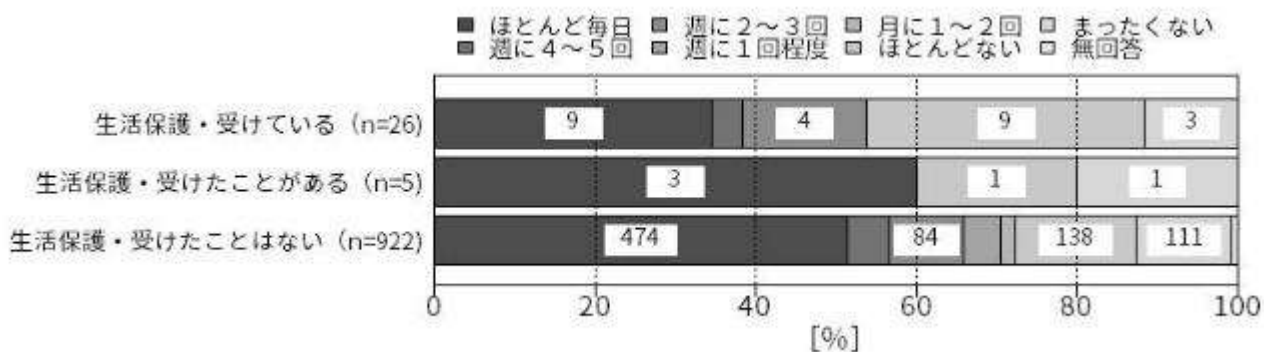


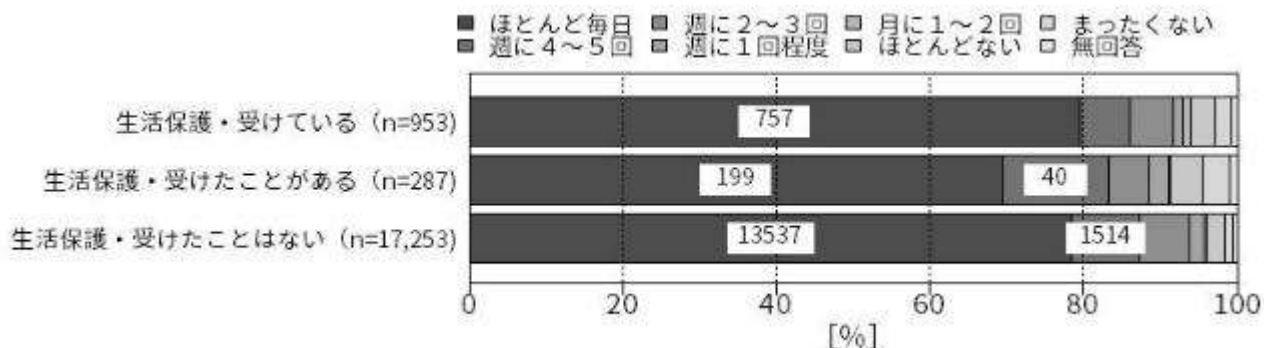
図 135. 生活保護の受給別に見た、保護者と子どもの関わり  
 （おうちの大人と朝食を食べるか）

生活保護を受けたことがある世帯は少数であったため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

生活保護を受けている世帯では、おうちの大人の人と一緒に朝食を食べることが「まったくない」と回答した子どもが 11.5%、生活保護を受けたことがない世帯では 12%であった。

生活保護の受給別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と夕食を食べるか）  
 （保護者票 問 30(3)⑤ × 子ども票 問 10②）

<大阪市 24 区>



<大阪市阿倍野区>

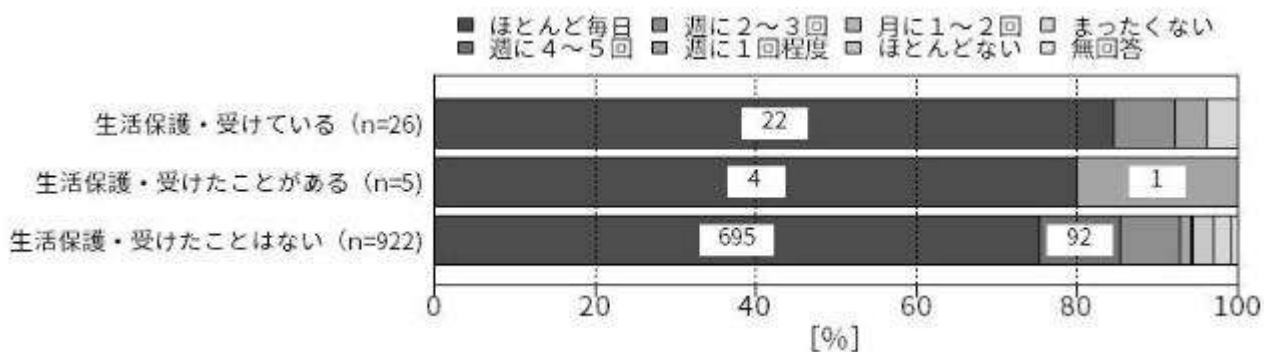


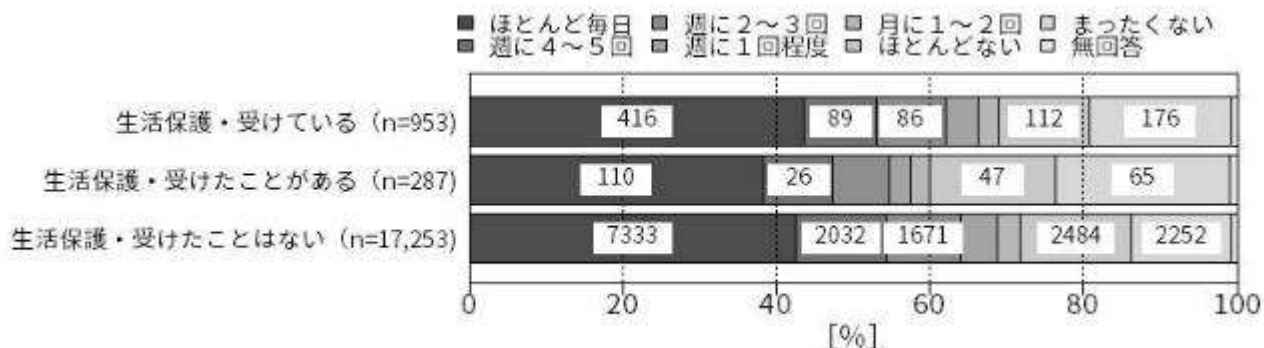
図 136. 生活保護の受給別に見た、保護者と子どもの関わり  
 （おうちの大人と夕食を食べるか）

生活保護を受けたことがある世帯は少数であったため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

生活保護を受けている世帯では、おうちの大人の人と一緒に夕食を食べることが「まったくない」と回答した子どもが 3.8%、生活保護を受けたことがない世帯では 2.4%であった。

生活保護の受給別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人に朝、起こされるか）  
 （保護者票 問 30(3)⑤ × 子ども票 問 10③）

<大阪市 24 区>



<大阪市阿倍野区>

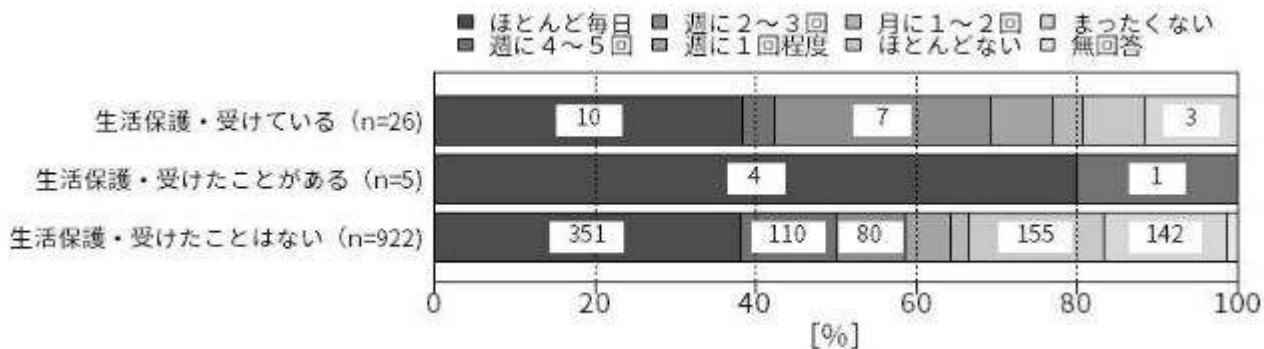


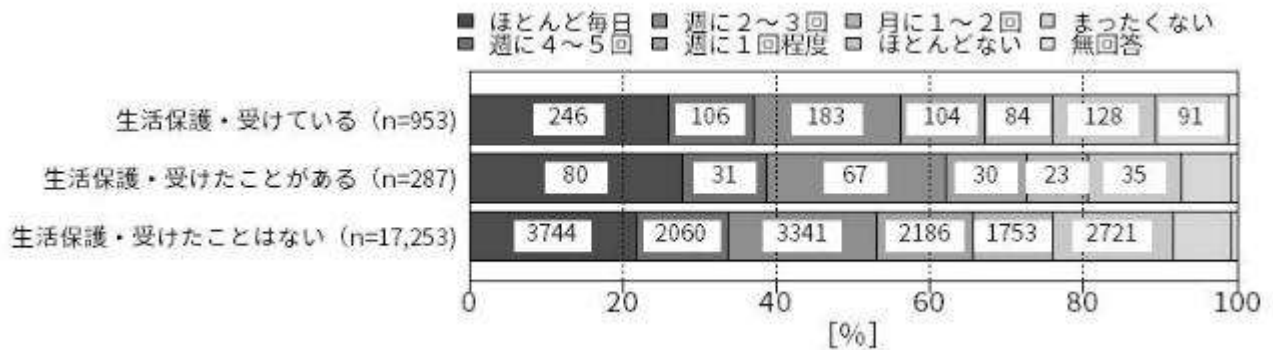
図 137. 生活保護の受給別に見た、保護者と子どもの関わり  
 （おうちの大人に朝、起こされるか）

生活保護を受けたことがある世帯は少数であったため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

生活保護の受給別に見た、保護者と子どもの関わり（家の手伝いをするか）

（保護者票 問 30(3)⑤ × 子ども票 問 10④）

<大阪市 24 区>



<大阪市阿倍野区>

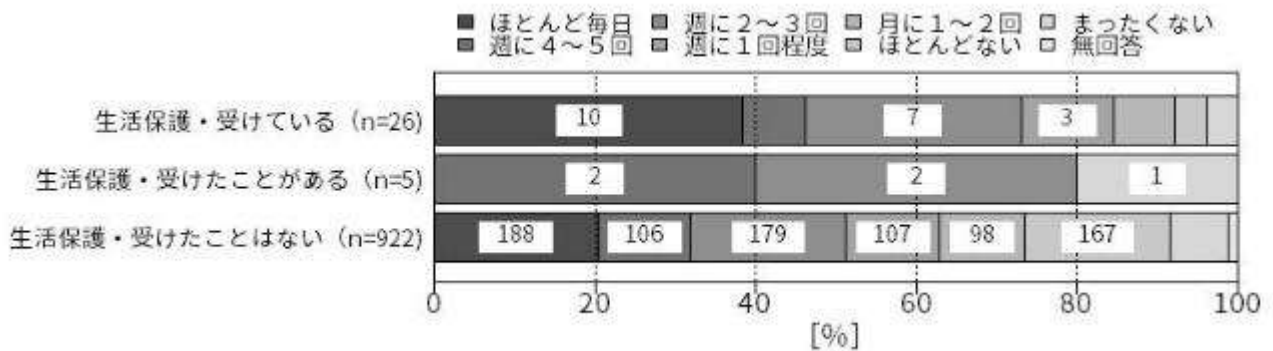


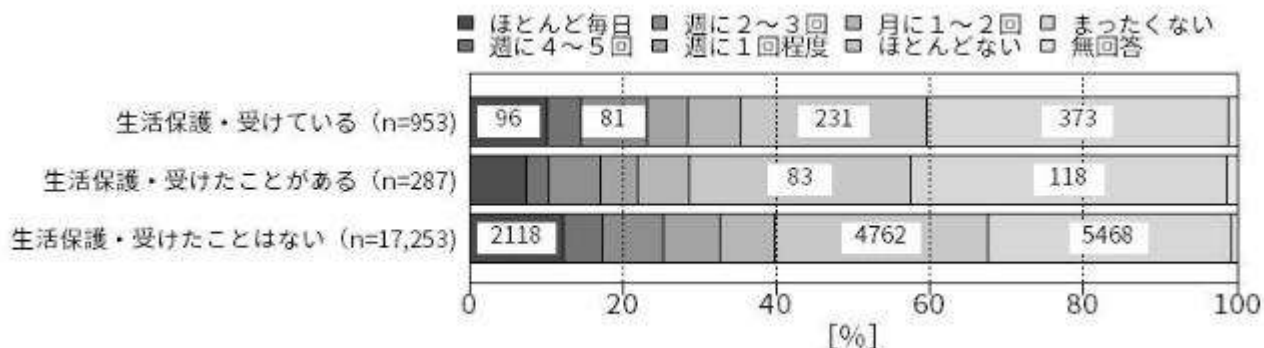
図 138. 生活保護の受給別に見た、保護者と子どもの関わり  
（家の手伝いをするか）

生活保護を受けたことがある世帯は少数であったため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

生活保護を受けている世帯では、おうちの手伝いをするのが「まったくない」と回答した子どもが 3.8%、生活保護を受けたことがない世帯では 7.3%であった。

生活保護の受給別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人に宿題をみてもらうか）  
（保護者票 問 30(3)⑤ × 子ども票 問 10⑤）

<大阪市 24 区>



<大阪市阿倍野区>

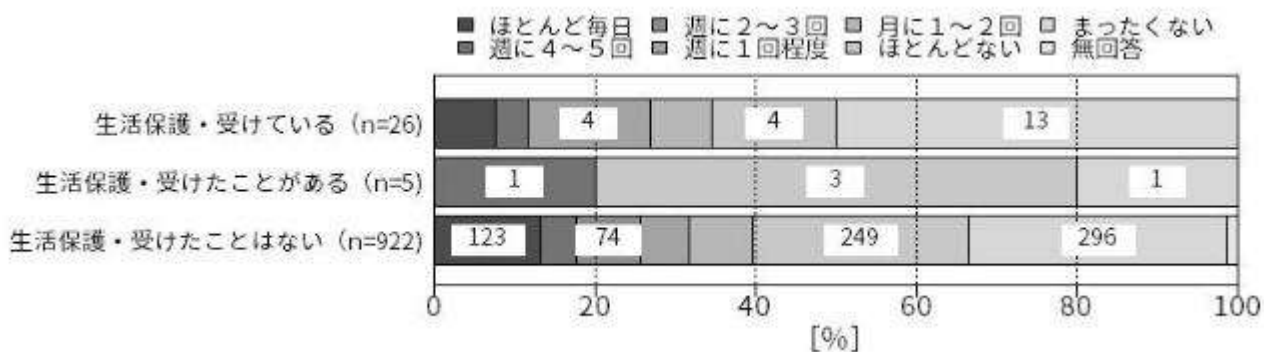


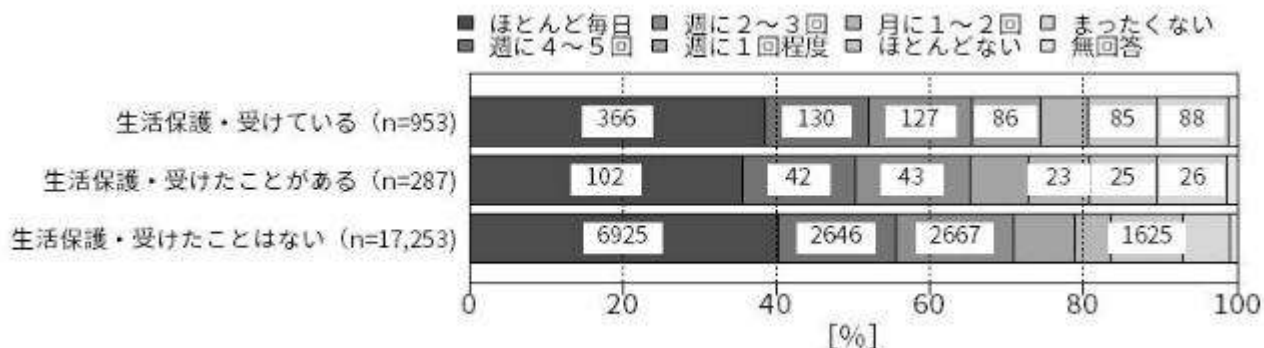
図 139. 生活保護の受給別に見た、保護者と子どもの関わり  
（おうちの大人に宿題をみてもらうか）

生活保護を受けたことがある世帯は少数であったため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

生活保護を受けている世帯では、おうちの大人の人に宿題（勉強）をみてもらうことが「まったく」と回答した子どもが 50.0%、生活保護を受けたことがない世帯では 32.1%であった。

生活保護の受給別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と学校の話をするか）  
（保護者票 問 30(3)⑤ × 子ども票 問 10⑥）

<大阪市 24 区>



<大阪市阿倍野区>

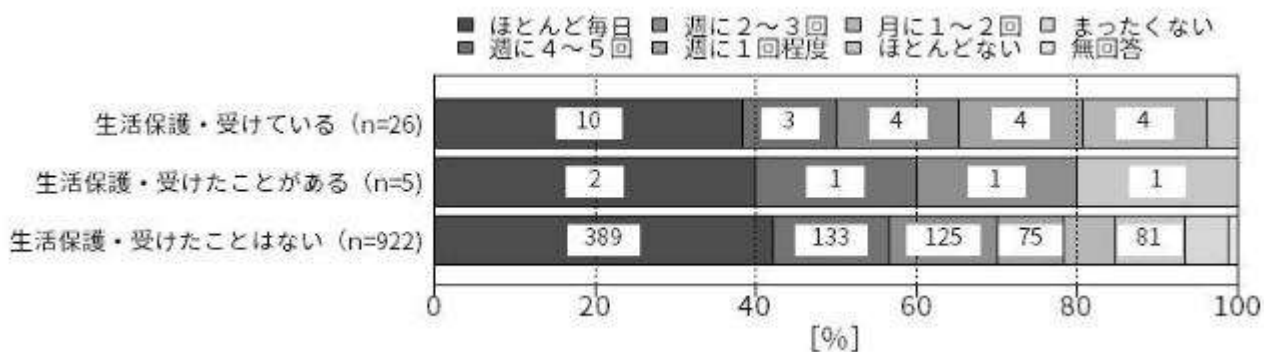


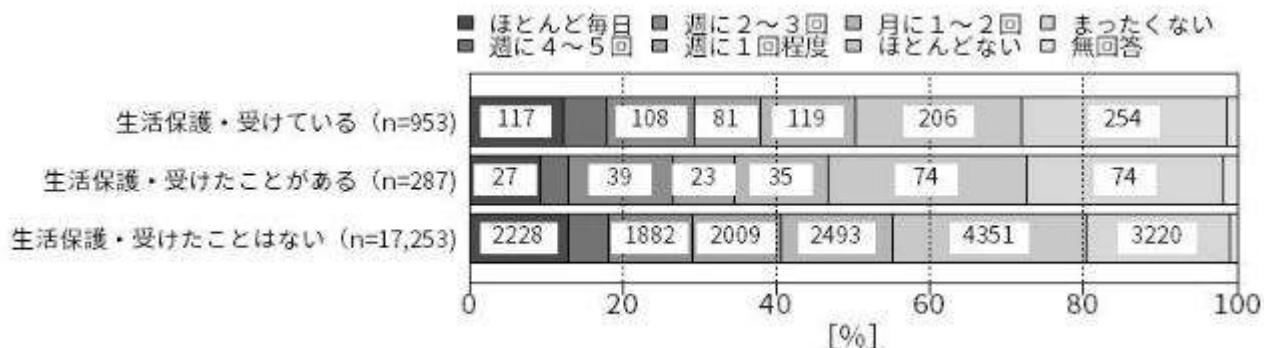
図 140. 生活保護の受給別に見た、保護者と子どもの関わり  
（おうちの大人と学校の話をするか）

生活保護を受けたことがある世帯は少数であったため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

生活保護を受けている世帯では、おうちの大人の人と学校のできごとについて話すことが「まったくない」と回答した子どもが該当なし、生活保護を受けたことがない世帯では 5.3%であった。

生活保護の受給別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と遊んだり、体を動かすか）  
（保護者票 問 30(3)⑤ × 子ども票 問 10⑦）

<大阪市 24 区>



<大阪市阿倍野区>

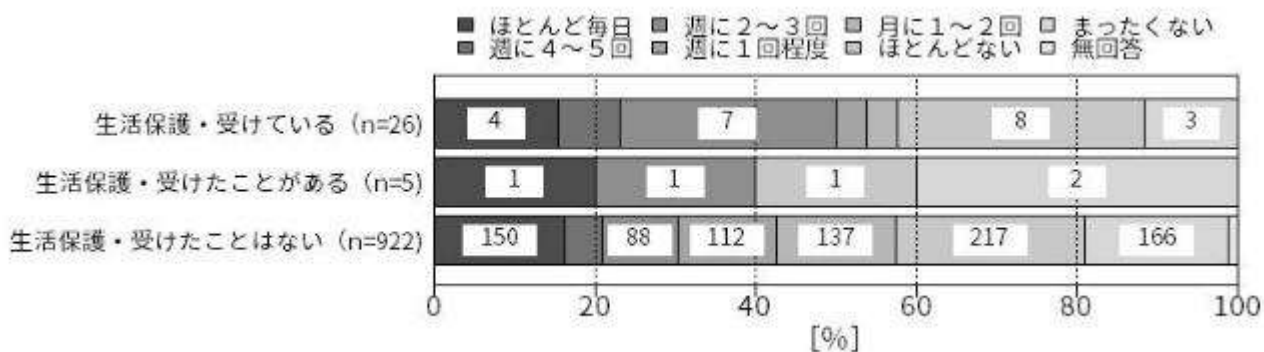


図 141. 生活保護の受給別に見た、保護者と子どもの関わり  
（おうちの大人と遊んだり、体を動かすか）

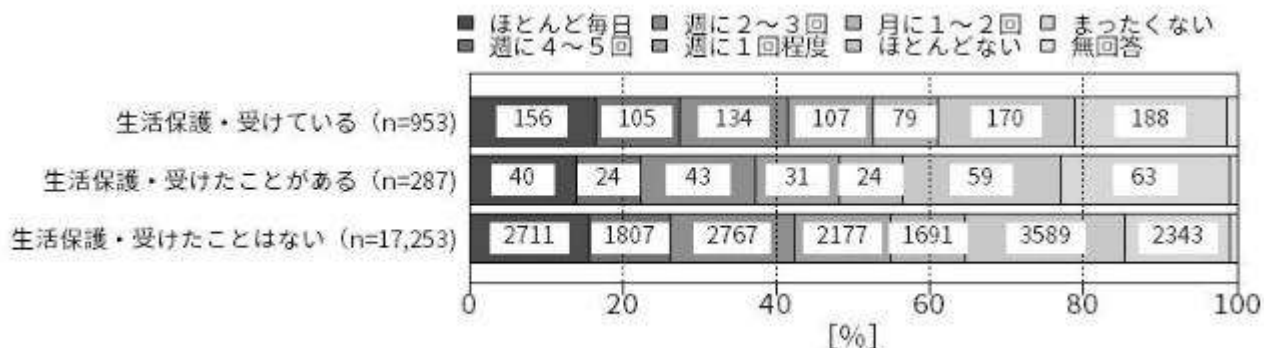
生活保護を受けたことがある世帯は少数であったため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

生活保護を受けている世帯では、おうちの大人の人と遊んだり、体を動かしたりすることが「まったくない」と回答した子どもが 11.5%、生活保護を受けたことがない世帯では 18%であった。



生活保護の受給別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と社会のできごとを話すか）  
（保護者票 問 30(3)⑤ × 子ども票 問 10⑧）

<大阪市 24 区>



<大阪市阿倍野区>

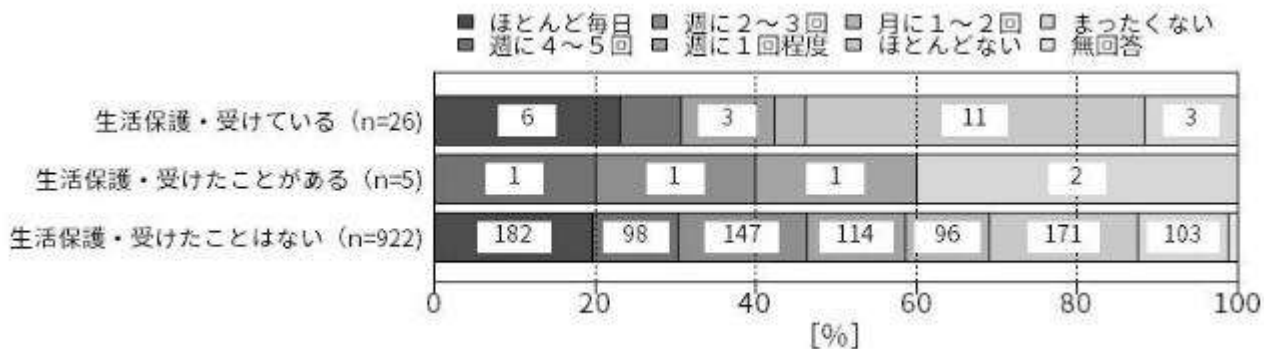


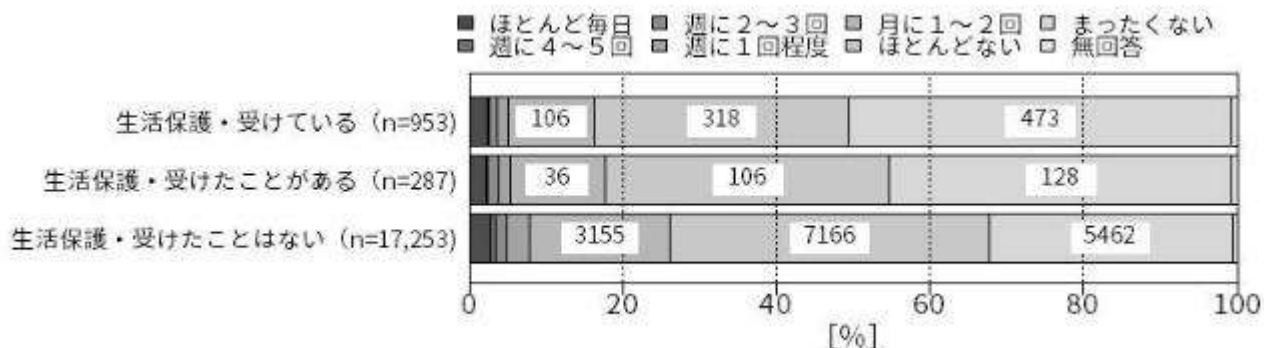
図 142. 生活保護の受給別に見た、保護者と子どもの関わり  
（おうちの大人と社会のできごとを話すか）

生活保護を受けたことがある世帯は少数であったため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

生活保護を受けている世帯では、おうちの大人の人とニュースなど社会のできごとについて話し合うことが「まったくない」と回答した子どもが 11.5%、生活保護を受けたことがない世帯では 11.2%であった。

生活保護の受給別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と文化活動をするか）  
（保護者票 問 30(3)⑤ × 子ども票 問 10⑨）

<大阪市 24 区>



<大阪市阿倍野区>

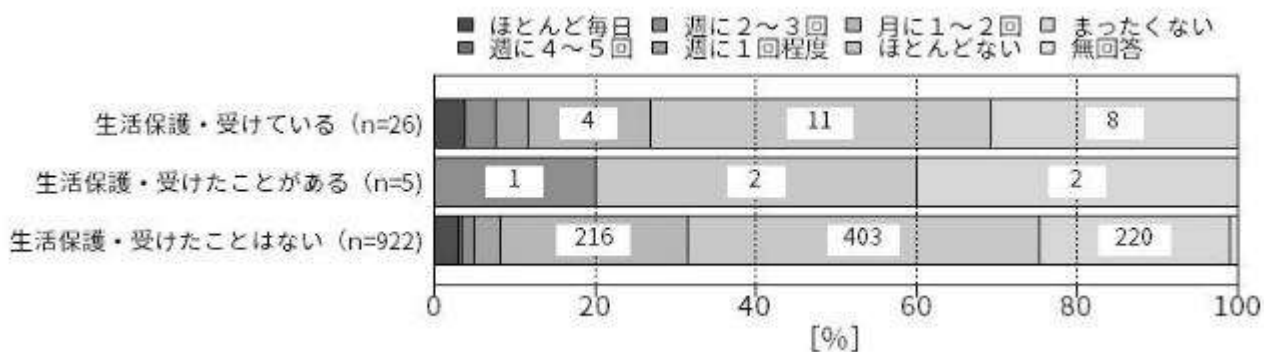


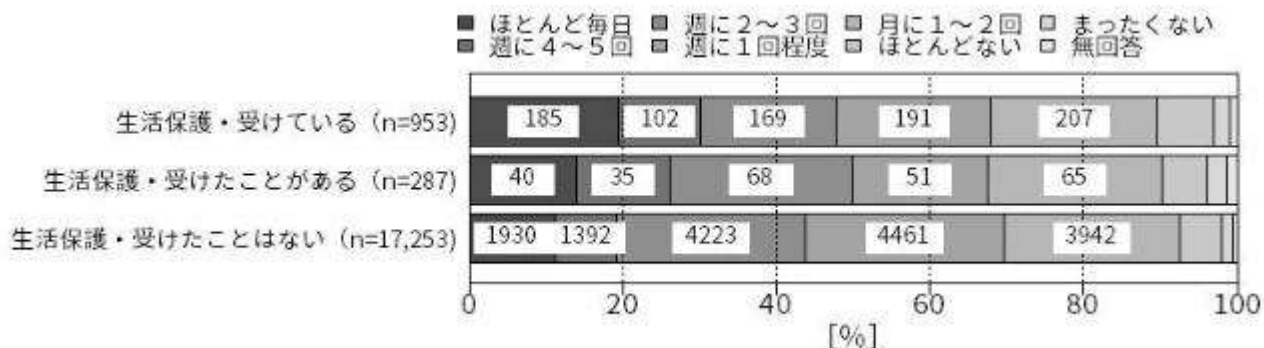
図 143. 生活保護の受給別に見た、保護者と子どもの関わり  
（おうちの大人と文化活動をするか）

生活保護を受けたことがある世帯は少数であったため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

生活保護を受けている世帯では、おうちの大人の人と文化活動をするのが「まったくない」と回答した子どもが 30.8%、生活保護を受けたことがない世帯では 23.9%であった。

生活保護の受給別に見た、保護者と子どもの関わり（おうちの大人と一緒に外出するか）  
（保護者票 問 30(3)⑤ × 子ども票 問 10⑩）

<大阪市 24 区>



<大阪市阿倍野区>

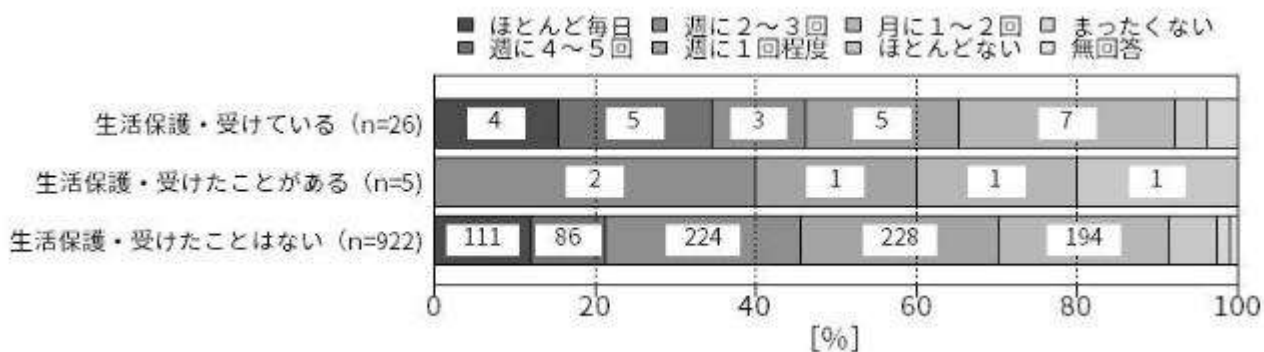
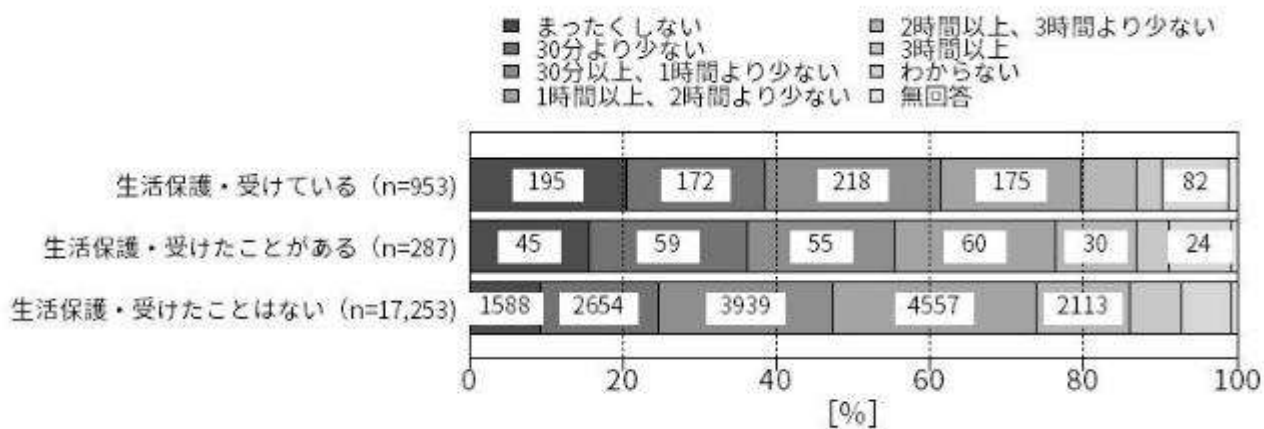


図 144. 生活保護の受給別に見た、保護者と子どもの関わり  
（おうちの大人と一緒に外出するか）

生活保護を受けたことがある世帯は少数であったため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

生活保護を受けている世帯では、おうちの大人の人と一緒に外出することが「まったくない」と回答した子どもが 3.8%、生活保護を受けたことがない世帯では 1.6%であった。

<大阪市 24 区>



<大阪市阿倍野区>

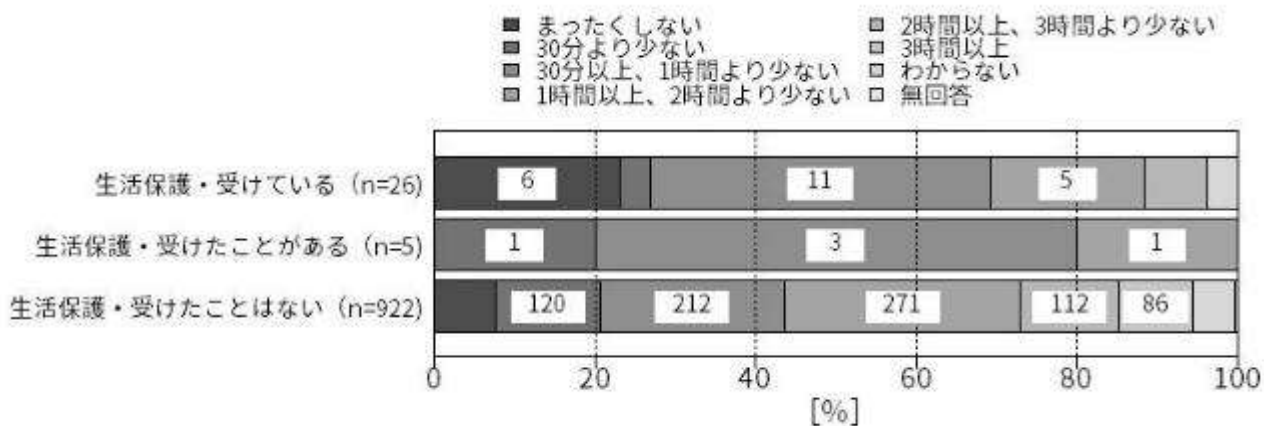
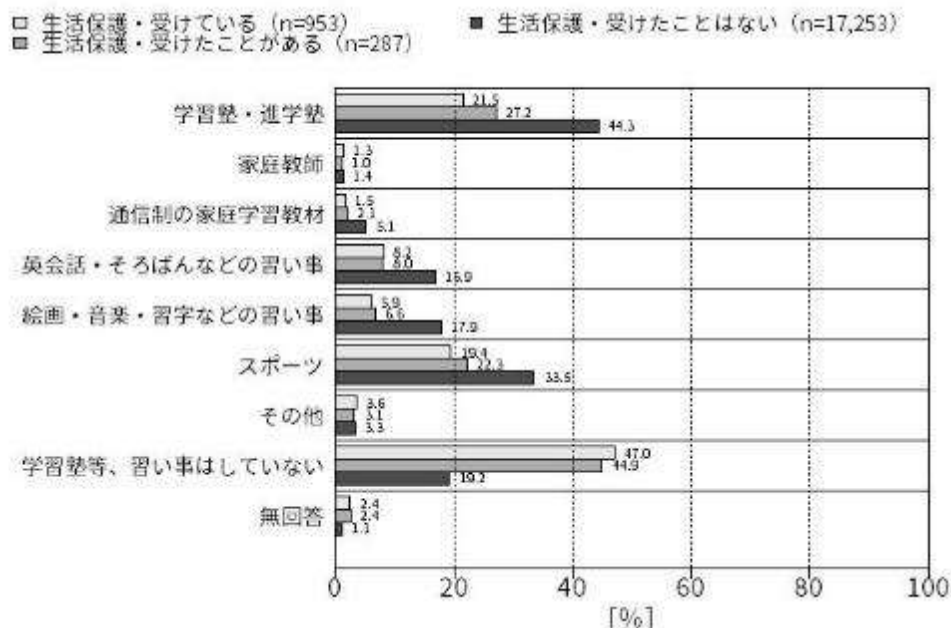


図 145. 生活保護の受給別に見た、授業以外の勉強時間

生活保護を受けたことがある世帯は少数であったため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

生活保護を受けている世帯では、授業時間以外に勉強を「まったくしない」と回答した子どもが 23.1%、生活保護を受けたことがない世帯では 7.6%であった。

<大阪市 24 区>



<大阪市阿倍野区>

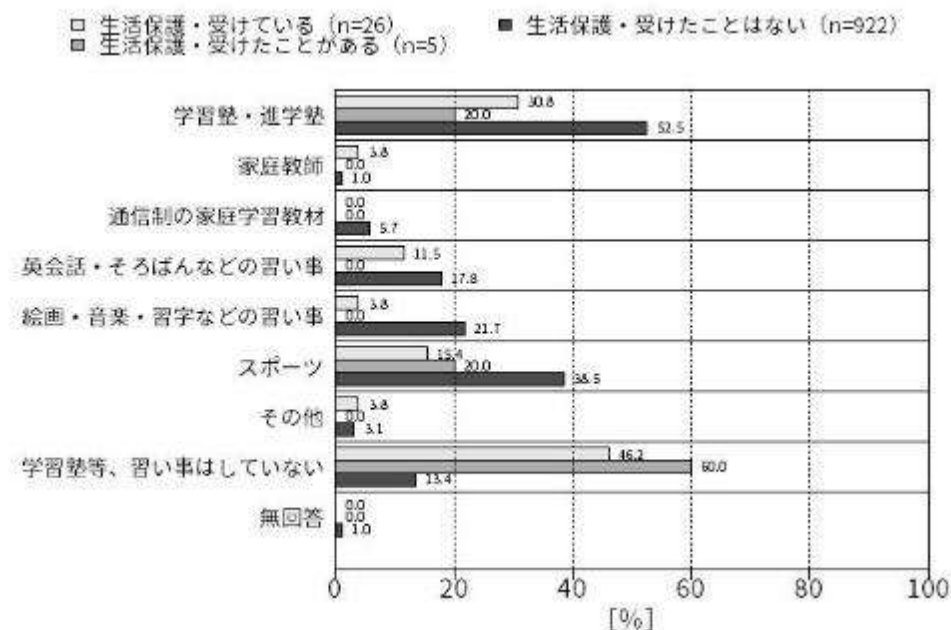
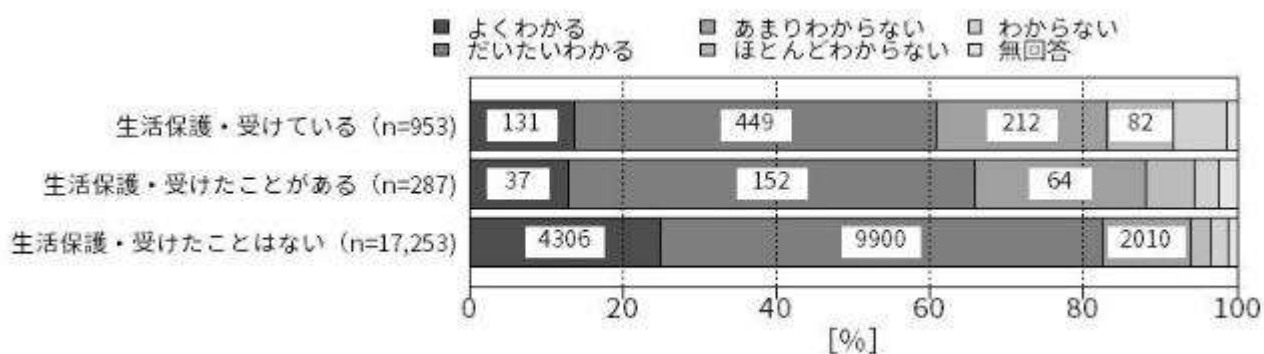


図 146. 生活保護の受給別に見た、学習塾等の利用状況

生活保護を受けたことがある世帯は少数であったため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

生活保護を受けている世帯では、「学習塾等、習い事はしていない」と回答した子どもが 46.2%、生活保護を受けたことがない世帯では 13.4%であった。

<大阪市 24 区>



<大阪市阿倍野区>

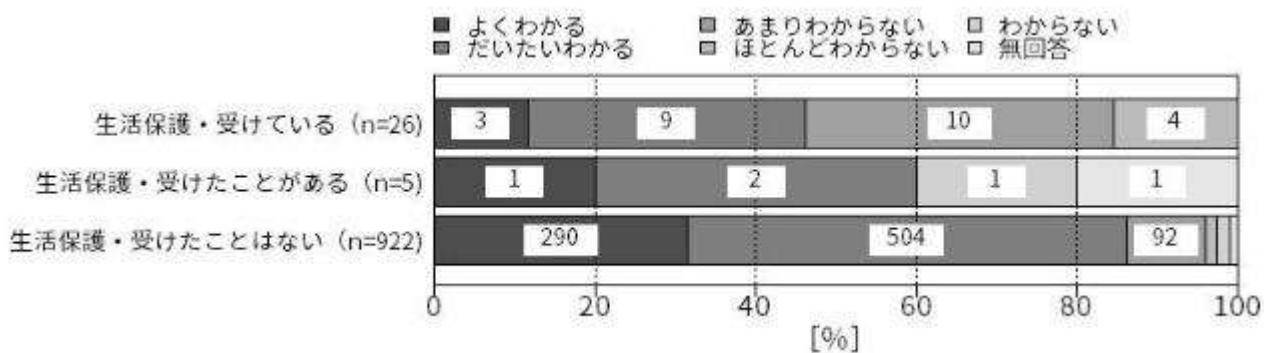


図 147. 生活保護の受給別に見た、学習理解度

生活保護を受けたことがある世帯は少数であったため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

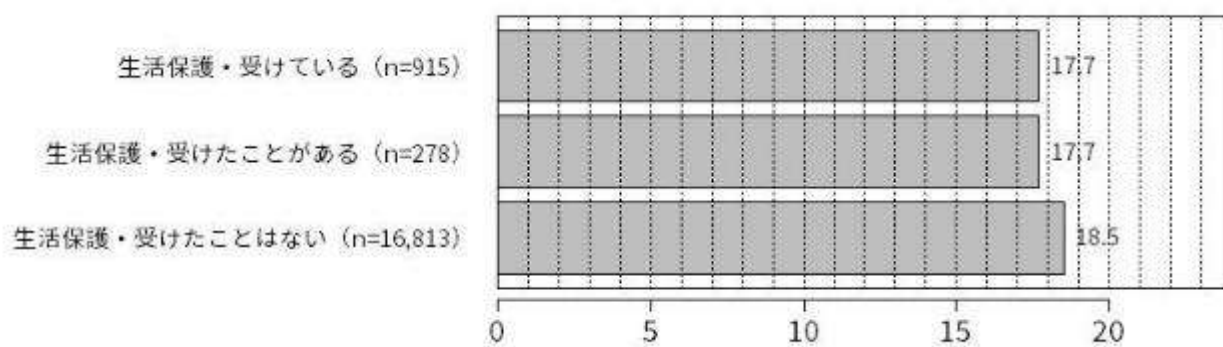
生活保護を受けている世帯では、学校の勉強を「わからない」と回答した子どもが該当なし、生活保護を受けたことがない世帯では 1.5%であった。

# 生活保護の受給別に見た、子ども自己効力感（セルフ・エフィカシー）

（保護者票 問 30(3)⑤ × 子ども票 問 26(1)～(6)）

※「自分に自信がある」「自分の考えをはっきり相手に伝えることができる」「大人は信用できる」「自分の将来の夢や目標を持っている」「将来のためにも、今、頑張りたいと思う」「将来、働きたいと思う」の 6 項目について、それぞれ 4 段階で評価させ、その値を合計した得点を、セルフ・エフィカシー得点とした。得点が高いほど、自己効力感（セルフ・エフィカシー）が高いことを表す。

## <大阪市 24 区>



## <大阪市阿倍野区>

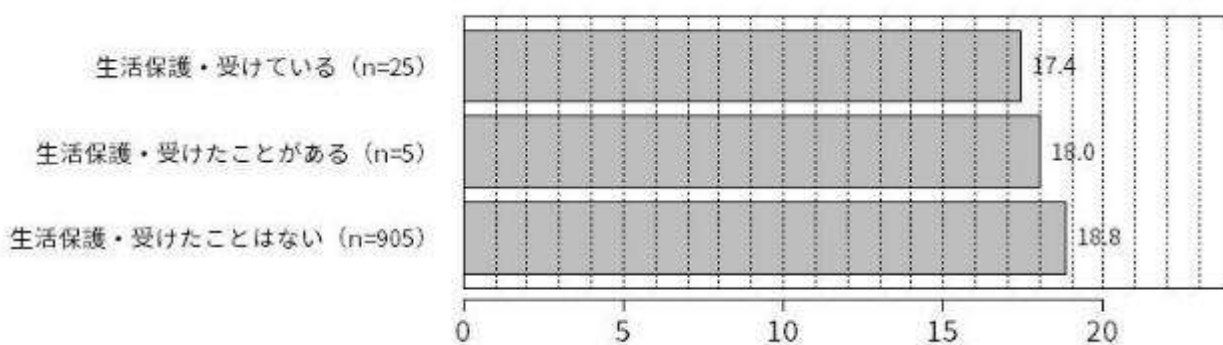


図 148. 生活保護の受給別に見た、子ども自己効力感（セルフ・エフィカシー）

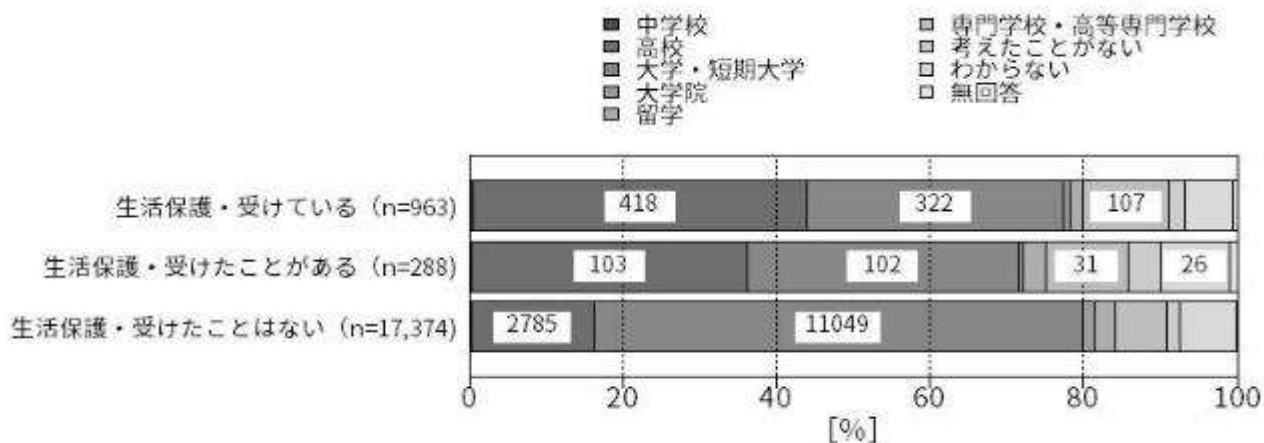
生活保護を受けたことがある世帯は少数であったため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

生活保護を受けている世帯では、子どもの自己効力感（セルフ・エフィカシー）の平均点が 17.4 点、生活保護を受けたことがない世帯では 18.8 点であった。

生活保護の受給別に見た、子どもに希望する進学先

(保護者票 問 30(3)⑤ × 保護者票 問 15)

<大阪市 24 区>



<大阪市阿倍野区>

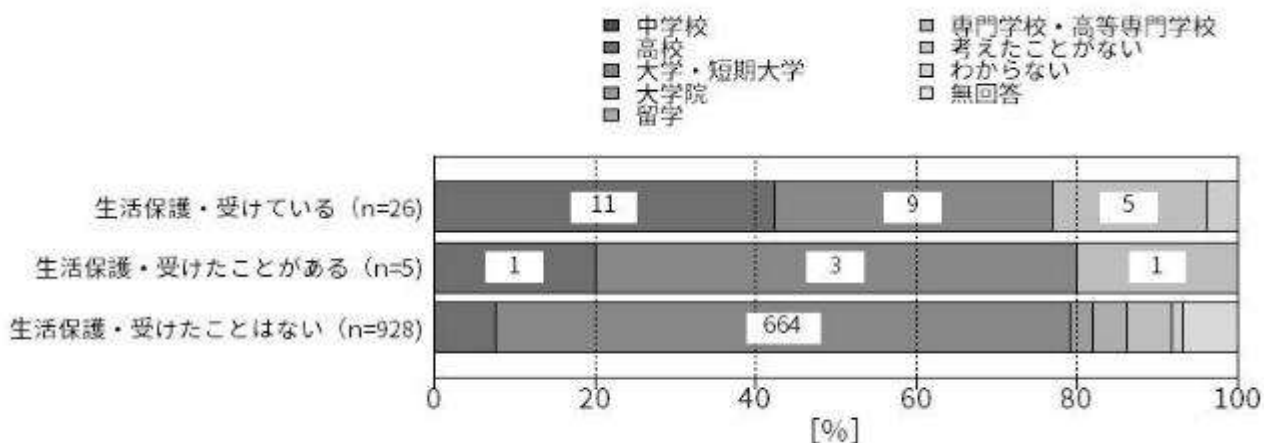


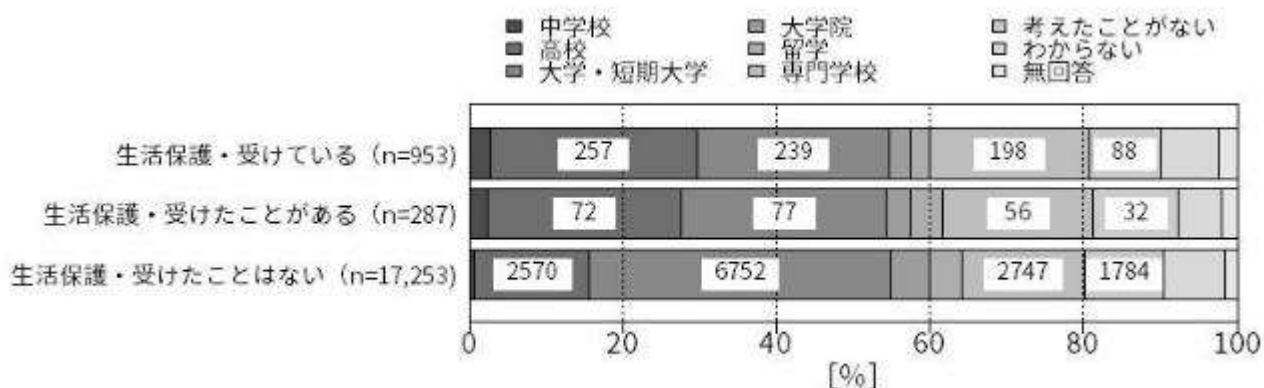
図 149. 生活保護の受給別に見た、子どもに希望する進学先

生活保護を受けたことがある世帯は少数であったため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

生活保護を受けている世帯では、子どもに希望する進学先を「大学・短期大学」と回答した保護者が 34.6%、生活保護を受けたことがない世帯では 71.6%であった。



<大阪市 24 区>



<大阪市阿倍野区>

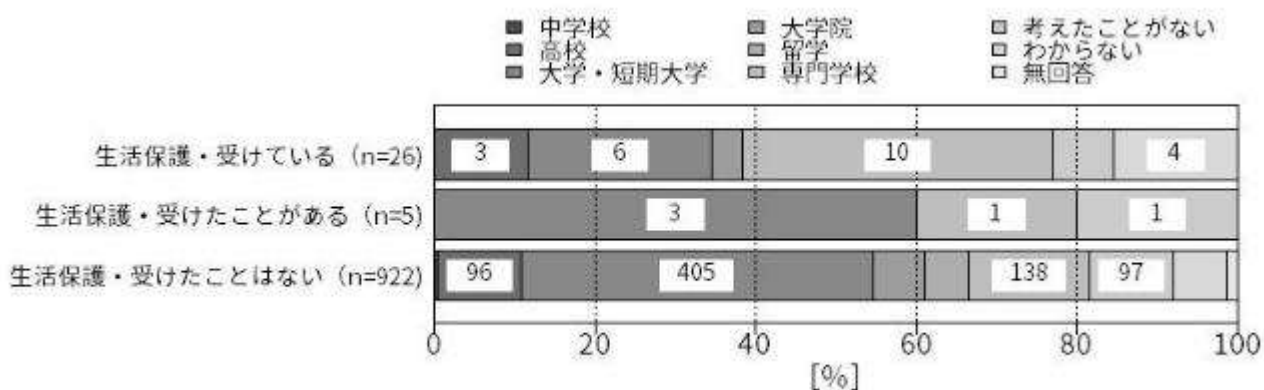


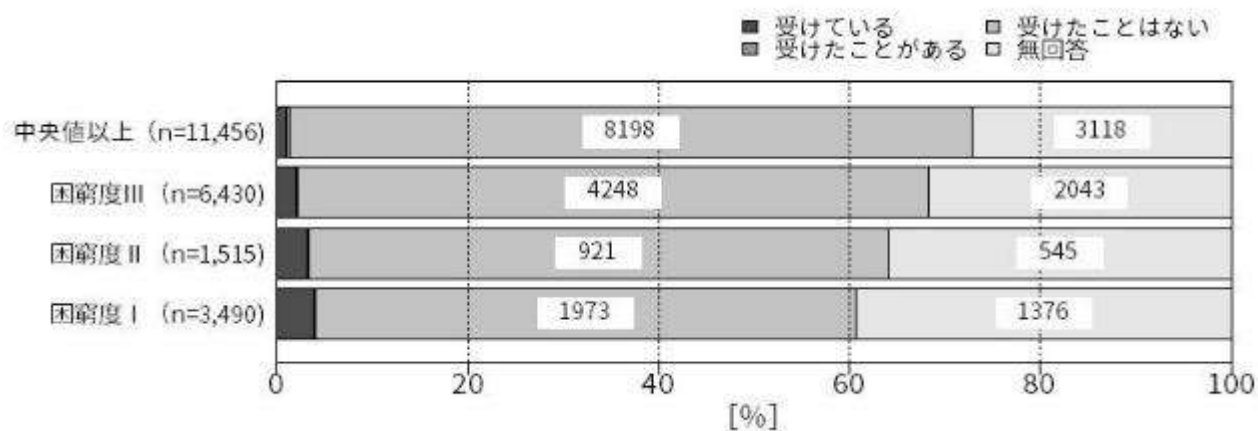
図 150. 生活保護の受給別に見た、希望する進学先

生活保護を受けたことがある世帯は少数であったため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

生活保護を受けている世帯では、希望する進学先を「大学・短期大学」と回答した子どもが 23.1%、生活保護を受けたことがない世帯では 43.9%であった。

困窮度別に見た、公的年金（遺族年金、障がい年金）（保護者票 問 30(3)⑦）

<大阪市 24 区>



<大阪市阿倍野区>

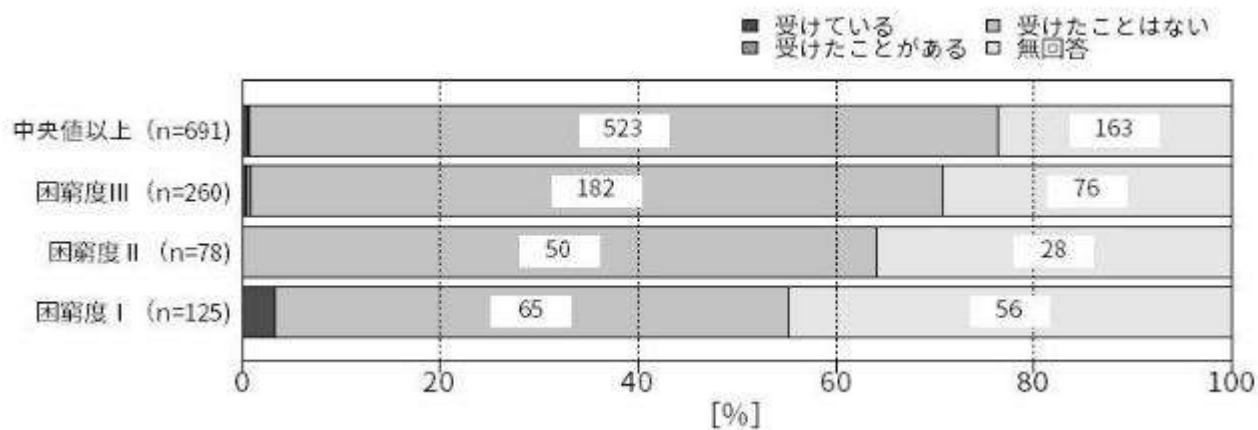
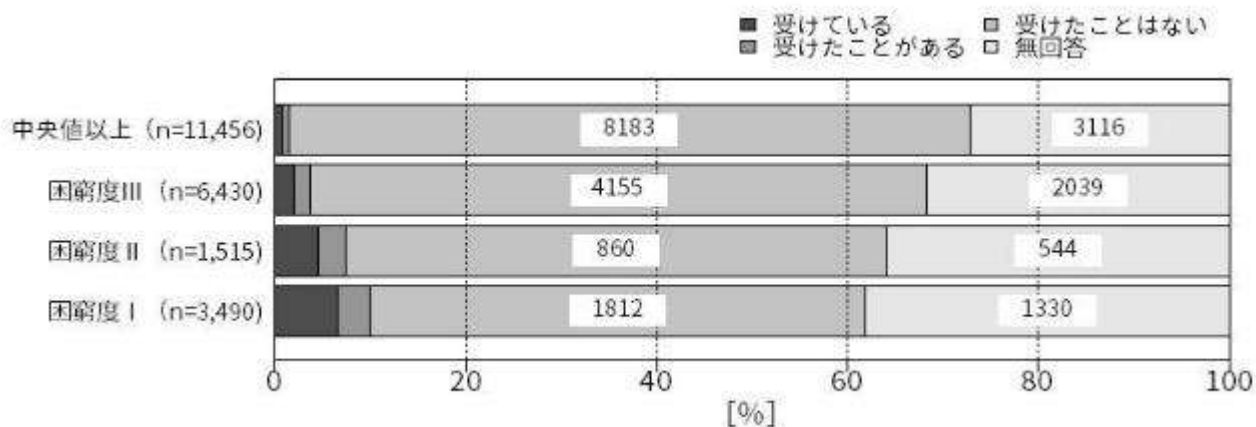


図 151. 困窮度別に見た、公的年金（遺族年金、障がい年金）

困窮度別に遺族年金や障がい年金といった公的年金の受給率を見ると、困窮度Ⅰ群においては「受けている」と回答した人は 3.2%であった。困窮度が高まるにつれて、無回答の割合も高くなっている。

困窮度別に見た、養育費（保護者票 問 30(3)⑨）

<大阪市 24 区>



<大阪市阿倍野区>

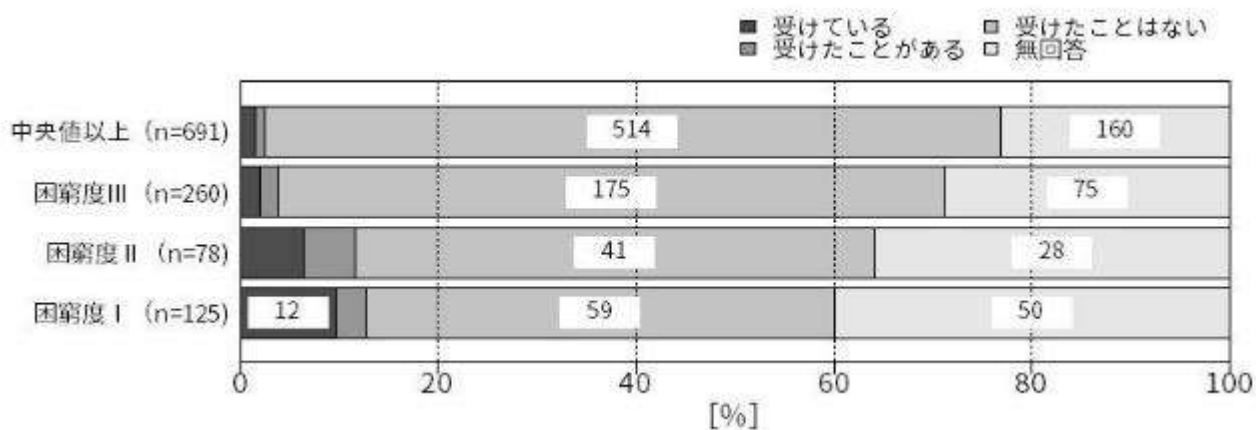


図 152. 困窮度別に見た、養育費

困窮度別に養育費の受給率を見ると、困窮度Ⅰ群においては「受けている」と回答した人は9.6%であった。さらに、以下に、ひとり親世帯のなかでの養育費の受給状況を示す。困窮度Ⅰでも「受けたことがない」が41.7%を占め、無回答が37.5%存在する。

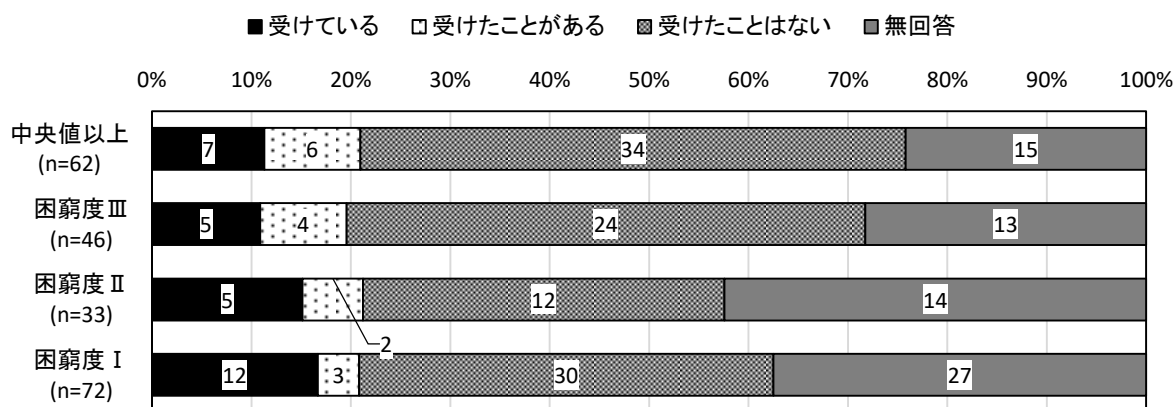
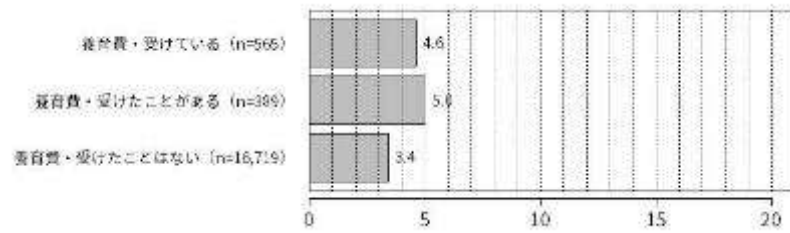


図 152 の補足図. 困窮度別に見た、養育費（ひとり親）

養育費の受給別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均（保護者票 問 30(3)⑨ × 保護者票 問 7)

<大阪市 24 区>



<大阪市阿倍野区>

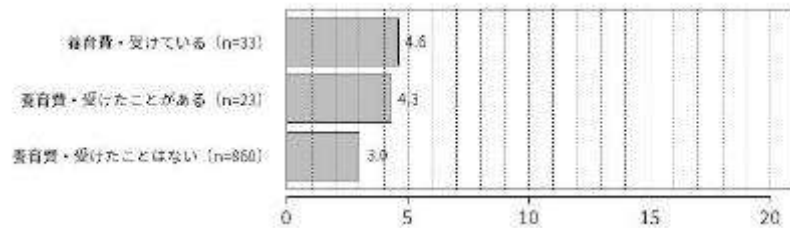
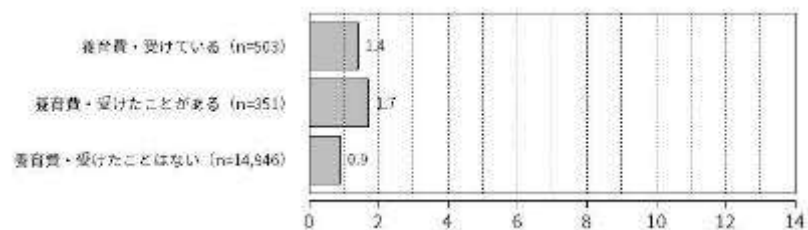


図 153. 養育費の受給別に見た、経済的な理由による経験の該当数の平均

養育費を受けている・受けたことがある世帯では、経済的な理由による経験の該当数平均はそれぞれ 4.6 個、4.3 個であった。

養育費の受給別に見た、子どもへの経済的な理由による経験の該当数の平均（保護者票 問 30(3)⑨ × 保護者票問 13)

<大阪市 24 区>



<大阪市阿倍野区>

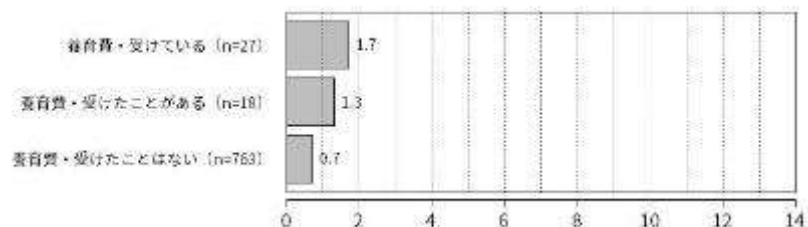
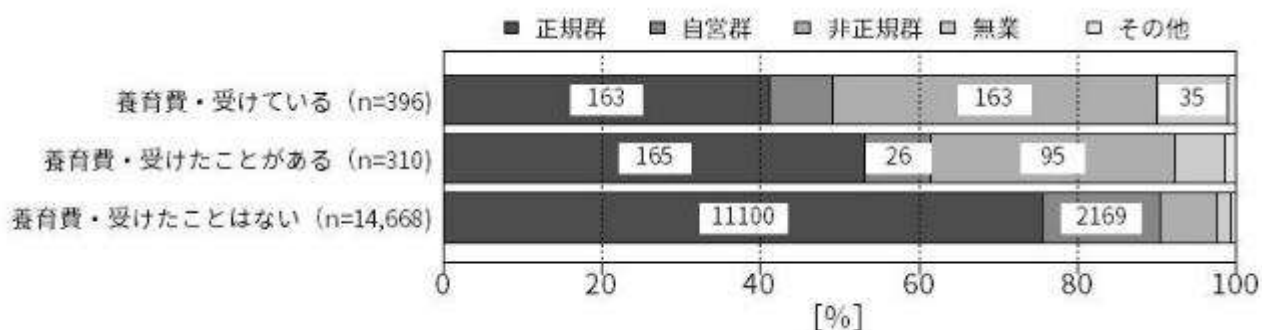


図 154. 養育費の受給別に見た、子どもへの経済的な理由による経験の該当数の平均

養育費を受けたことがある世帯は少数であったため、この群と比較して傾向を述べることはできない。養育費を受けている世帯では、経済的な理由による経験の該当数平均は 1.3 個であった。

養育費の受給別に見た、就労状況（保護者票 問 30(3)⑨ × 保護者票 就労状況）

<大阪市 24 区>



<大阪市阿倍野区>

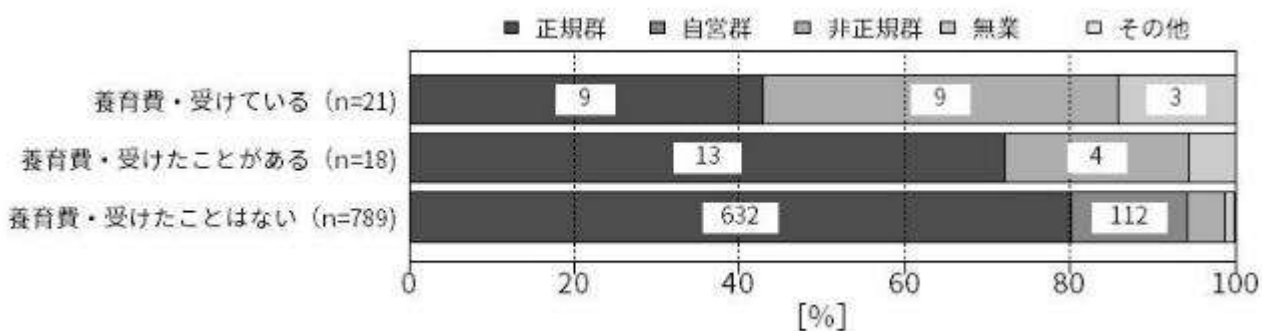


図 155. 養育費の受給別に見た、就労状況

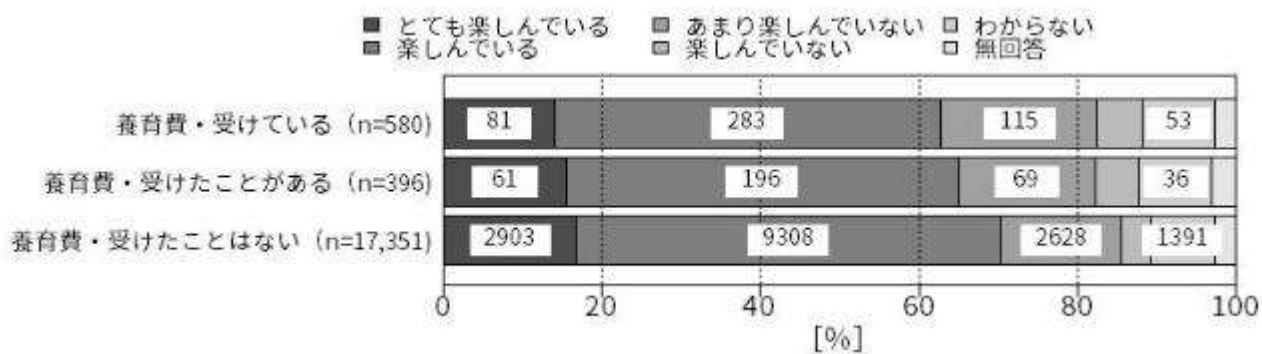
養育費を受けたことがある世帯は少数であったため、この群と比較して傾向を述べることはできない。

養育費を受けている世帯では、「非正規群」が 42.9%、「無業」が 14.3%、養育費を受けたことがない世帯では 4.4%、1.1%であった。

養育費の受給別に見た、心の状態（生活を楽しんでいるか）

（保護者票 問 30(3)⑨ × 保護者票 問 25(1)）

<大阪市 24 区>



<大阪市阿倍野区>

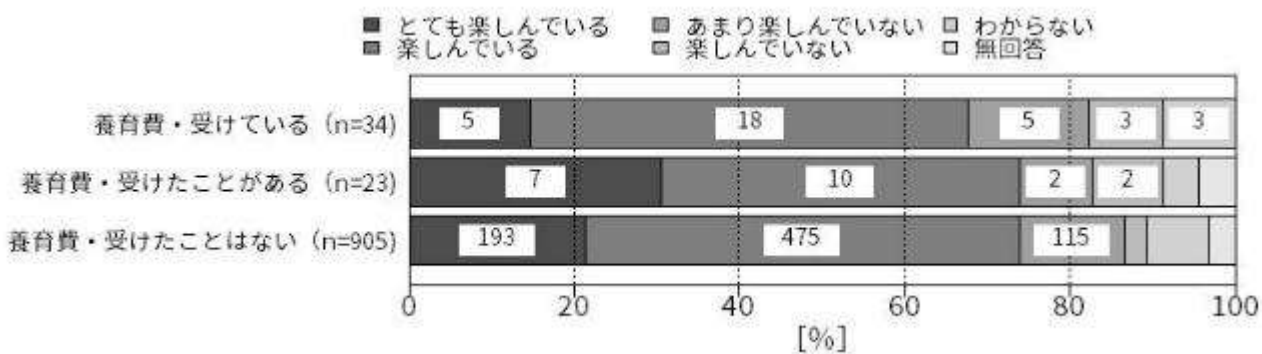
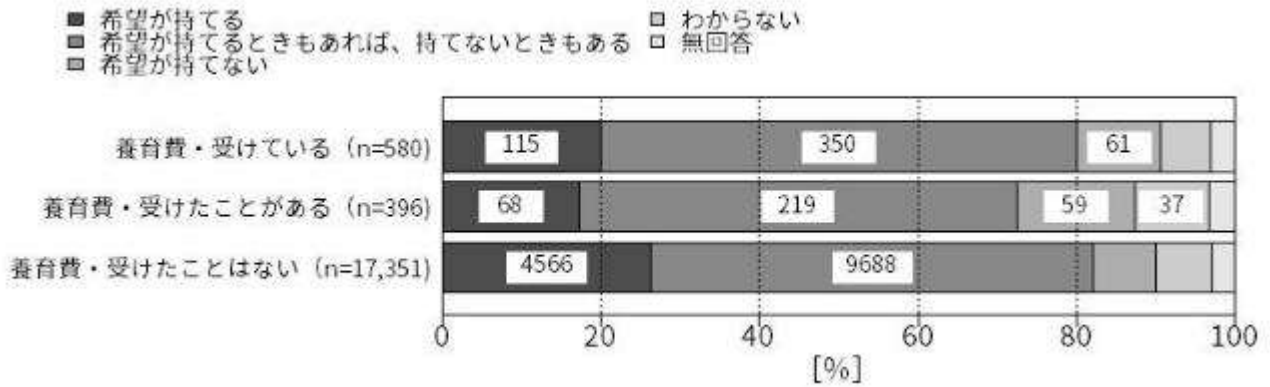


図 156. 養育費の受給別に見た、心の状態（生活を楽しんでいるか）

どの世帯でも、「楽しんでいる」の割合は同程度であった。

養育費の受給別に見た、心の状態（将来への希望）  
 （保護者票 問 30(3)⑨ × 保護者票 問 25(2)）

<大阪市 24 区>



<大阪市阿倍野区>

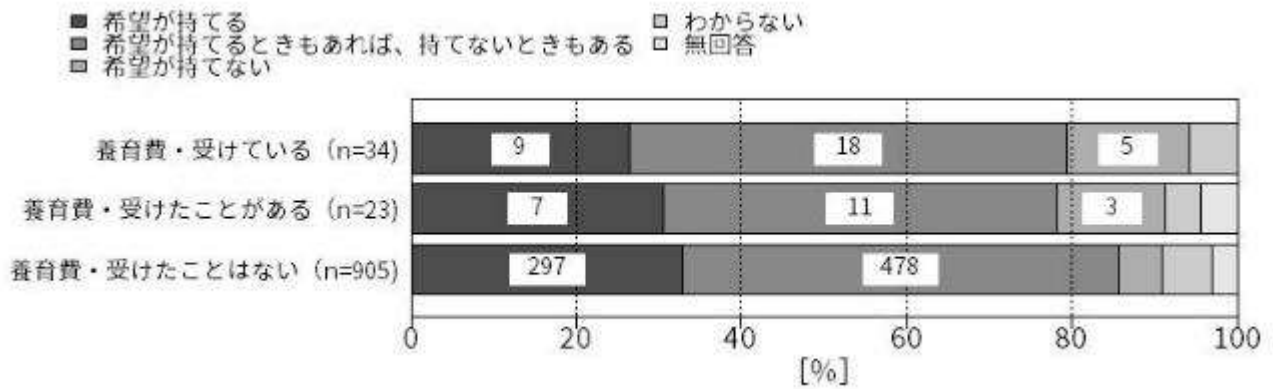


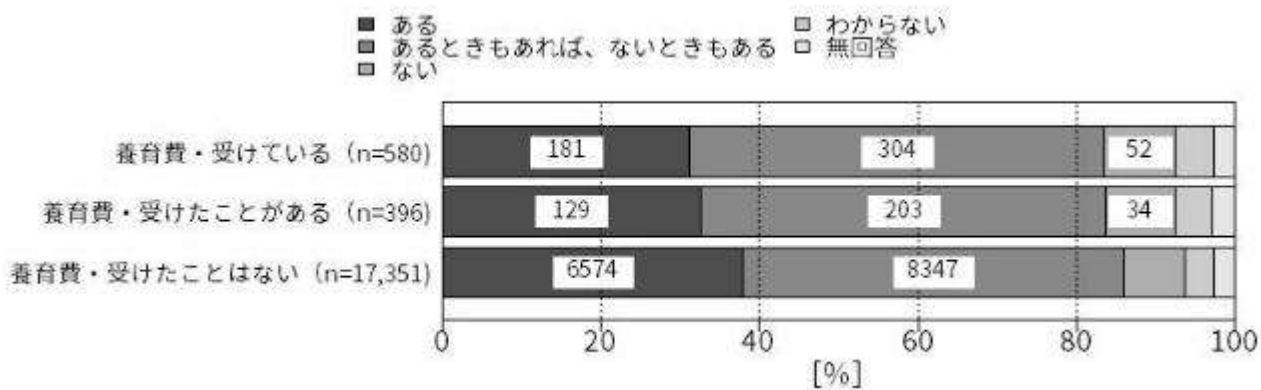
図 157. 養育費の受給別に見た、心の状態（将来への希望）

養育費を受けている世帯では、「希望が持てない」が 14.7%であったのに対し、養育費を受けたことがある世帯では 13%、養育費を受けたことはない世帯では 5.3%であった。

養育費の受給別に見た、心の状態（ストレス発散できるもの）

（保護者票 問 30(3)⑨ × 保護者票 問 25(3)）

<大阪市 24 区>



<大阪市阿倍野区>

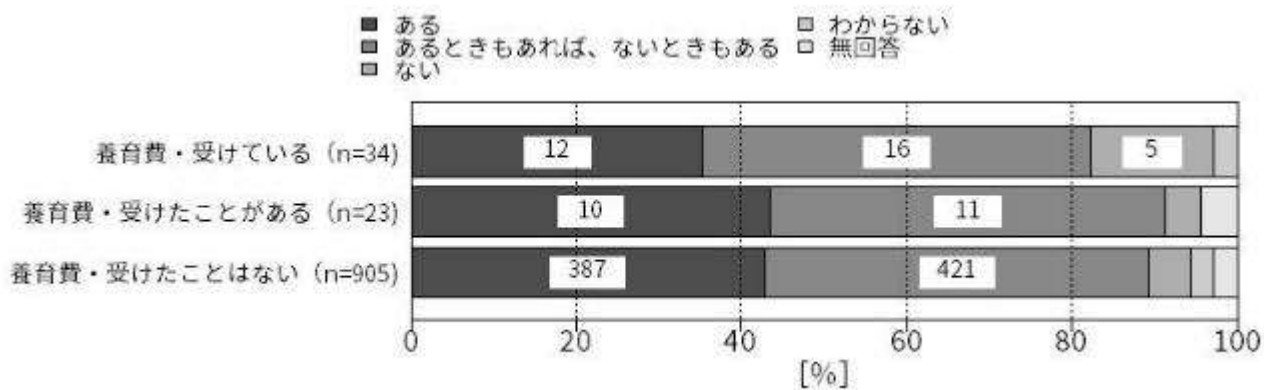


図 158. 養育費の受給別に見た、心の状態（ストレス発散できるもの）

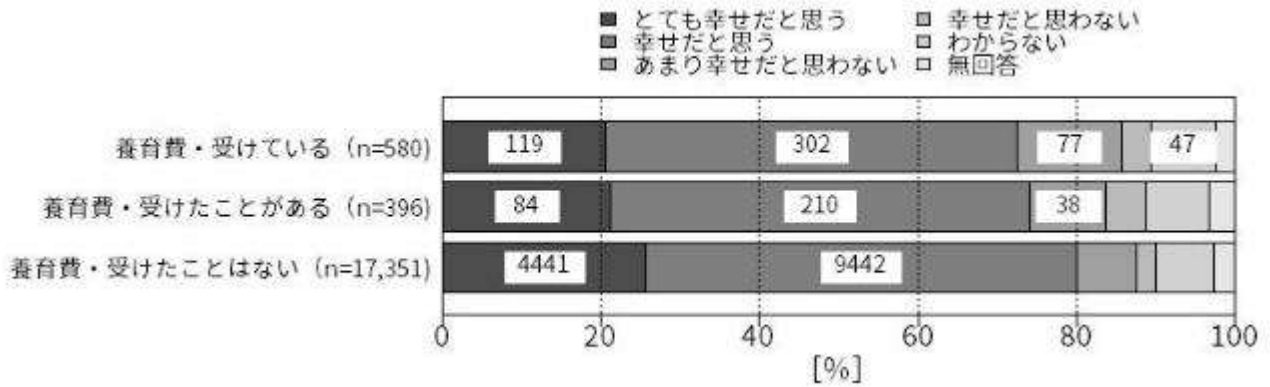
養育費を受けている世帯では、「ない」が 14.7%であったのに対し、養育費を受けたことがある世帯では 4.3%、養育費を受けたことはない世帯では 5.2%であった。



養育費の受給別に見た、心の状態（幸せだと思うか）

（保護者票 問 30(3)⑨ × 保護者票 問 25(4)）

<大阪市 24 区>



<大阪市阿倍野区>

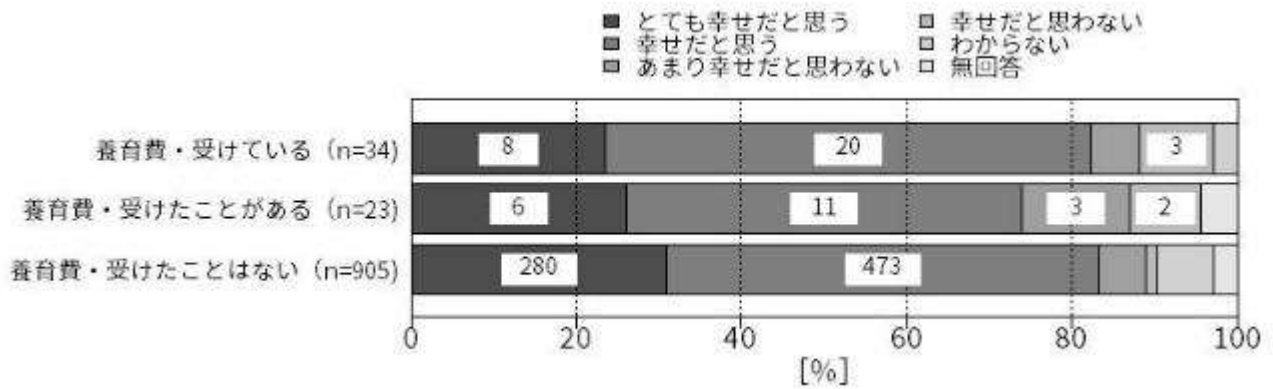


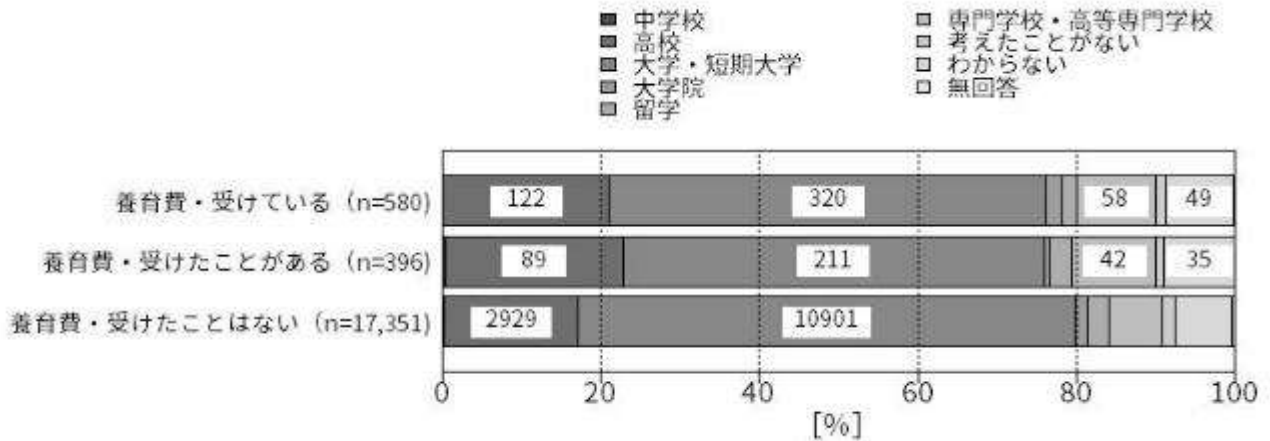
図 159. 養育費の受給別に見た、心の状態（幸せだと思うか）

養育費を受けている世帯では、「幸せだと思わない」が 8.8%であったのに対し、養育費を受けたことがある世帯では 8.7%、養育費を受けたことはない世帯では 1.4%であった。

養育費の受給別に見た、子どもに希望する進学先

(保護者票 問 30(3)⑨ × 保護者票 問 15)

<大阪市 24 区>



<大阪市阿倍野区>

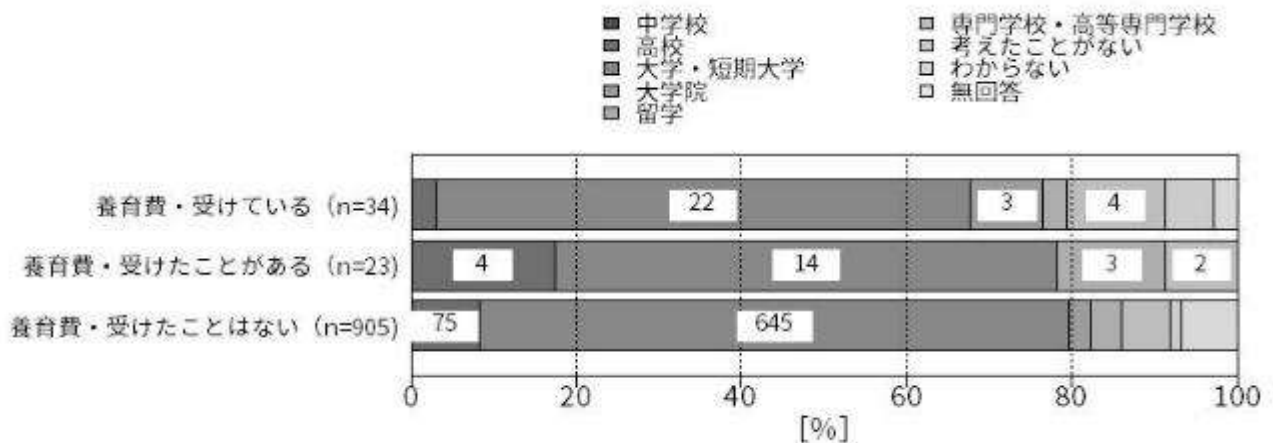
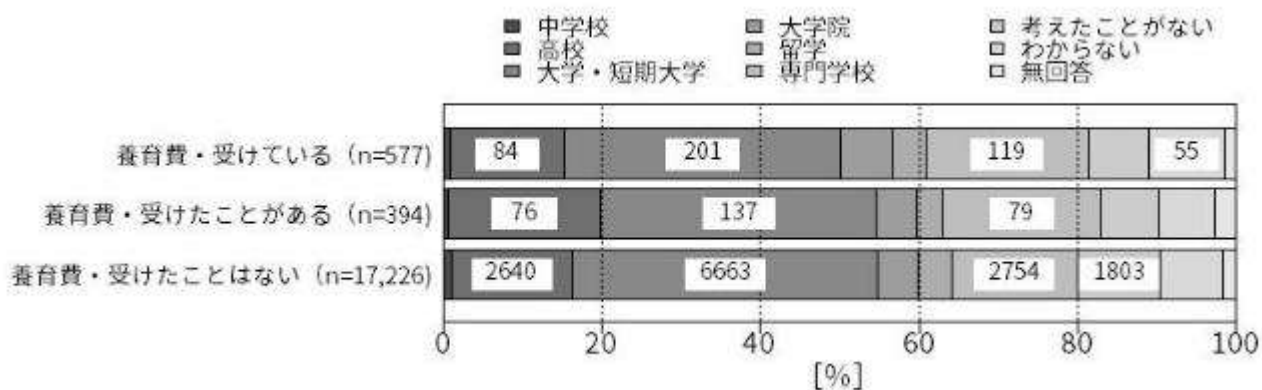


図 160. 養育費の受給別に見た、子どもに希望する進学先

養育費を受けている世帯では、「大学・短期大学」が 64.7%であったのに対し、養育費を受けたことがある世帯では 60.9%、養育費を受けたことはない世帯では 71.3%であった。

<大阪市 24 区>



<大阪市阿倍野区>

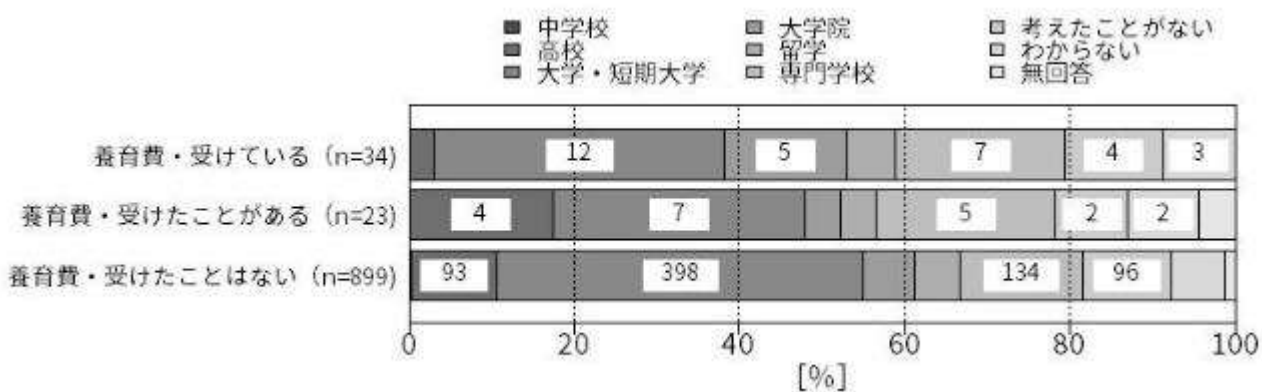
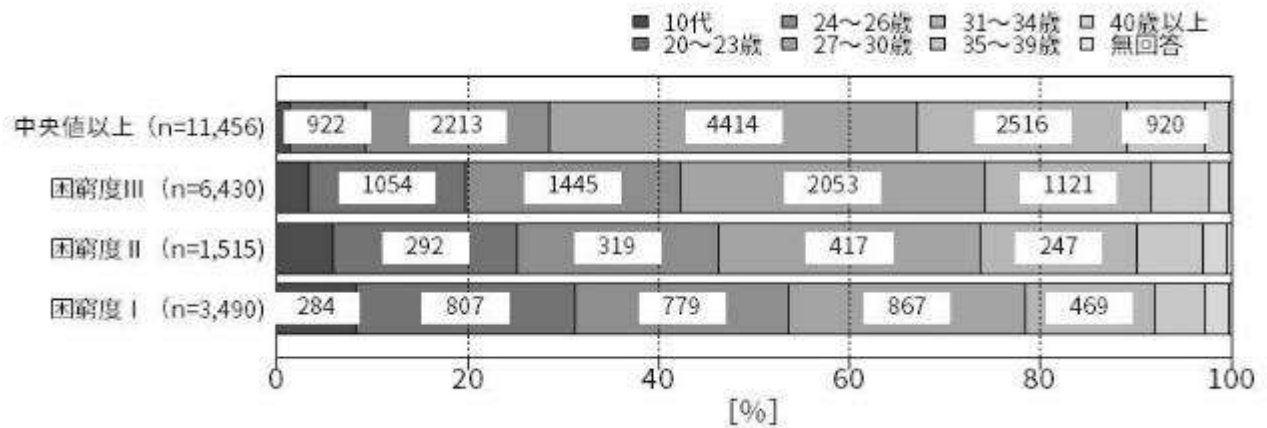


図 161. 養育費の受給別に見た、希望する進学先

養育費を受けている世帯では、「大学・短期大学」が 35.3%であったのに対し、養育費を受けたことがある世帯では 30.4%、養育費を受けたことはない世帯では 44.3%であった。

困窮度別に見た、初めて親となった年齢（保護者票 問 22）

<大阪市 24 区>



<大阪市阿倍野区>

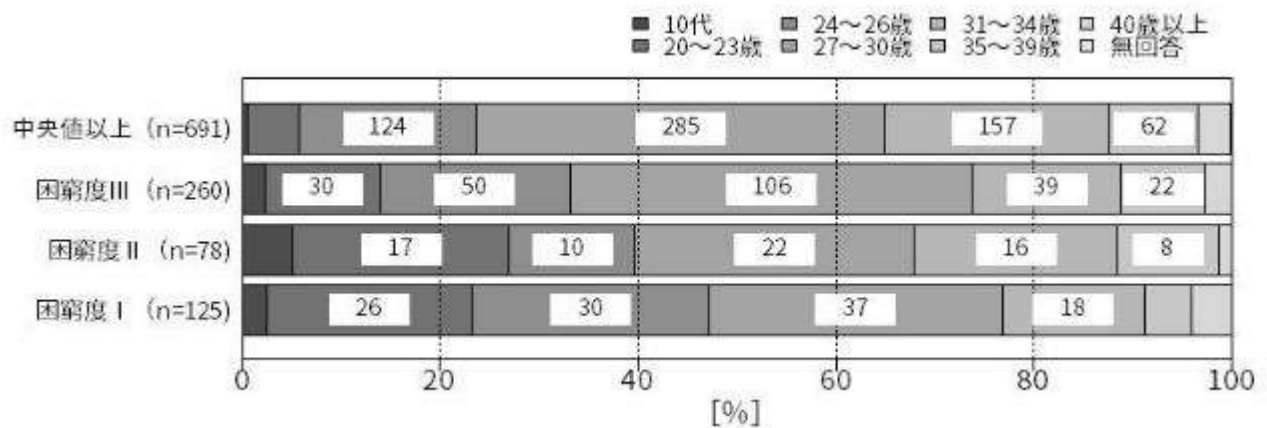


図 162. 困窮度別に見た、初めて親となった年齢

全ての回答者を対象として、困窮度別に初めて親となった年齢を見ると、困窮度Ⅰ群で10代で初めて親となったと答えた割合は2.4%であった。